令和5年度 富岡地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

○担当地区の高齢化が進み、高齢化率は市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしや高齢者世帯の増加も進んでおり、長年活動が続けてきた地域団体やボランティアの高齢化など他地区と同様の悩みがあります。山坂の多さも高齢者を悩ます大きな要因となっています。
○町内会等地域団体を基礎とする活動は活発に行われており、地域のコミュニティーは確保されています。民生・児童委員などによる福祉保健活動も活発です。そこでこのような地域団体等との情報交換や地域課題を考える各種の会合を通じて人材の発掘確保・地域課題の抽出などに取り組み、必要な支援を地域ともに考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	中学校と連携し地福計画ワークシートの活用を目指す。
☐	☒	地域の方へキャラバンメイト養成講座の紹介をし、参加を促していく。認知症サポーター養成講座を開催し見守りの輪を広げていく。
☐	☒	R4年度開催したシニアクラブについての協議体・支え合い連絡会を引き続き開催。ポッチャを広げていくことで、地域活動団体の把握をしていく。
☒	☐	町内会ごとの活動団体や人材についてヒアリングし、情報収集する。移動販売に関わる役員や利用者と地域資源の情報を共有する。
☐	☒	医師による認知症講座を開催し認知症の理解を深め、認知症の早期発見・認知症予防に務める。また既存の地域事業への参加を広く地域住民に働きかけていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・地福計画のワークシート活用について、エリア内に2校ある中学校のうち、1校との連携は継続して行えている。今年度は残る1校とも連携を取れるように学校側と関係者を一堂に会し協議の場を設けることが出来た。
・認知症理解講座を地域内の集会所で開催し、正しい知識と理解を深めることが出来た。また、チームオレンジ事業の一環として施設利用団体向けにステップアップ講座を開催し、ご近所でも緩やかな見守りが出来るように協力を求めた。さらには地域内のキャラバンメイトの皆様にお声掛けし、認知症サポーターの会を発足し、郵便局員向けに認知症サポーター養成講座を開催した。
・区内3箇所のケアプラザ共催でポッチャ大会を開催し参加者同士の交流を図ることが出来た。地域対抗とした事で日々の練習にも熱が入り、マンネリ予防とモチベーション向上に繋がった。シニアクラブにおいてもポッチャの普及活動をすすめ、競技参加をきっかけに介護予防や閉じ籠り防止に繋がることに期待。

区からのコメント

今年度も、地域ケアプラザの場を生かした個別課題から地域課題・ケアプラザ事業への展開が一貫して行われました。個別のニーズに丁寧に対応することで、結果として幅広い層の住民の方が地域ケアプラザに集い、地区内の活動等にも繋がっています。中学校でのワークシートを活用した取組も引き続き行われ、未実施の中学校に関しても地域の方の声を最大限に活かしながらアプローチしていただいています。こうした地道な取組が地域全体へ還元されることを引き続き期待しています。
ご近所での緩やかな見守りが地域の中で根付いていく。その土壌を地域住民を主体として作っていく中で、地区内で認知症サポーターの会が発足したことは今年度の大きな成果の一つです。引き続き、地域が元気になっていくための取組や後方支援をよろしく願いいたします。